

(1)

【解答】① gets down to

【解説】

- ① gets down to O は、「O (仕事など) に本腰を入れる」という意味を表すので、これが正解。なお、問題の和文はやや意識している。直訳すると「彼は入試に向けて勉強することに本腰を入れる」などとなる。
- ② gets in to O は、「O に着く」という意味を表す。
- ③ gets through to O は、「O に自分の言うことを分からせる」「O に電話連絡をする」などの意味がある。
- ④ gets up to O は、「O (人・場所など) に近づく」「O (段階など) に達する」という意味を持つ。

(2)

【解答】① all of a sudden

【解説】

- ① all of a sudden は、「前触れもなく、突然」という意味を表す副詞句で、これが正解。sudden が名詞として使われるのは、基本的にこの熟語表現のみで、ふつうは形容詞として使われる。
- ② at sudden は、前置詞の後には基本的に名詞が必要であるため、at (前置詞) + sudden (形容詞) の組み合わせは不適。また、sudden が名詞となるのは、①で述べたように all of a sudden の場合のみと考えてよいので、at (前置詞) + sudden (名詞) の組み合わせも不可。
- ③ sudden は、基本的に形容詞で、名詞の前につく。くだけた表現や文語的な表現などで副詞として使う場合もあるにはあるが、最も適切とは言いがたい。少なくとも英作などでは副詞で使うのは避けるべきだろう。
- ④ sudden of all は、①の all of a sudden と単語の組み合わせはよく似ているが、設問のような繋がりでは通例このような表現はしないので不適。

(3)

【解答】③ if ever

【解説】

- ① if any は、「もしあれば」「あるとしても」という意味を持ち、There are few, if any, mistakes. 「間違いがあるとしても、ほとんどない」のように、たとえあったとしても、その数が極めて少ないことを表す際の譲歩として使われる。any の前に there is が省略されていると考えればよい。
- ② if anything は「どちらかといえば」「むしろ」という意味になり、The exam wasn't difficult; if anything, it was very easy. 「試験は難しくなかった。むしろ、とても簡単だった」などと使われる。
- ③ if ever は「たとえ(することが)あるにしても」という意味で、これが正解。構成する品詞を確認すると、if は接続詞で、ever は副詞になる。よって、主語と動詞が省略されていることが分かる。省略を補ってみると、if he has ever gone to church となる。文全体から情報の重複を削ると、if ever のみが残る。選択肢①②③は表現が似ているが、使われている any, anything, ever という語の意味に対応するように、if any は「数量」について、if anything は「程度」について、if ever は「頻度」について、それぞれ言及していると取りあえずは考えてよいだろう。
- ④ if not は「もしそうでないなら、そうでないにせよ」という意味になり、これだと和文に沿った意味合いにならない。if は接続詞で、not は副詞になる。よって、これも if ever と同様に、主語と動詞が省略されていることが分かる。省略を補ってみると、if he has not gone to church となる。